



「おんが」の福津弁

祖母：地域の人が分別を手伝ってくれるから助かるね。
祖父：重いものを運ぶときはおうじょうするけんね。

おうじょうする？



(日蔭野2区) かわもと だいち 川本 大智ちゃん

※解説は19ページの下

院しました。1週間で退院できましたが、夫はそれからはいろいろな病気の闘いで、昨年の6月に他界しました。この時はとても力を失い、外に出るのも、人に会うのも嫌になっていました。夫と楽しんでグラウンドゴルフも、もうどうでもいい状態でした。

こうした中、長男が「お母さんが家にじっとしているのが心配。外に出てグラウンドゴルフやおしゃべりをしていての方が安心できる」と言い、私のことを気遣っていると気付きました。それから気持ちを持ち直し、半年ぶりにグラウンドゴルフに参加しました。「おはようございます」とあいさつすると、友達が「久しぶりね。元気にしてた？」と温かい言葉で迎えてくれました。

これからの人生、子どもに心配をかけずにグラウンドゴルフをみんなと一緒に楽しみたいと思います。私が立ち直れたのもグラウンドゴルフのおかげだと思います。お父さん、私にグラウンドゴルフを教えてください。ありがとうございます。(K・Sさん)

お便りを読んで、ご家族のかたや、グラウンドゴルフを通じて親しくなったご友人の皆さんの優しさ、そしてK・Sさんのご主人への感謝の思いが伝わり、とても温かい気持ちになりました。K・Sさんが元気を取り戻すことができたのは、ご主人と楽しんでグラウンドゴルフと周囲の皆さんの支えがあったからだと思います。

読者の声を中心に、みんなと広報担当で作る交流コーナーです。今月の題字は日蔭野3区の松田晴太さんが書いてくれました。



Readers Voice 読者の広場

12月号の特集はとも良かったと



思います。福津の観光振興のために、宮地嶽神社と、海水浴場をセットにした観光資源と世界遺産の新原・奴山古墳群を宗像市と共同での活用を推進してほしいと思います。(Worldさん/通り堂/64歳)

市ではふくつ観光協会や市商工会などと共働き、宮地嶽神社や福津の海岸など、市の観光資源を活用した観光施策を展開しています。例えば昨年5月から6月にかけて開催した「ふくつの鯛茶づけフェア」は、宮地嶽神

社の「菖蒲まつり」とのコラボ企画として実施しました。また、10月には福岡海岸沿いの店舗などの協賛店が「光の道」を連想させる菓子を提供・販売する「光の道開運スイーツフェア」を初めて実施しました。世界遺産の活用については、福津市と宗像市の観光ボランティアガイドの皆さんが相互に両市の世界遺産をガイドするなどの連携を図っています。また、今春には県・宗像市と共働で、両市の世界遺産ガイドを対象にした共通のガイドマニュアルを作成し、観光客へ質の高いサービスを提供できるようにする予定です。

市の観光振興のためには、Worldさんのご意見にもあるとおり、市内の観光資源間の回遊性を高めるための取り組みや世界遺産の活用を含めた近隣市

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。

町との連携を深めていくことも必要になります。今後も観光客の皆さんが福津を楽しめるよう、観光施策を推進したいと考えています。